

暑熱環境下における運動時のバイタルサインと深部体温の関係についての研究のお知らせ

帝京大学スポーツ医科学センターは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2023年10月11日～2026年12月31日

[研究課題] 暑熱環境下における運動時のバイタルサインと深部体温の関係についての調査

[研究の目的と意義] 我が国では、熱中症の診療時には、深部体温として膀胱温、直腸温が測定されていますが、これらの深部体温測定は、一般的の運動や労働において、熱中症の発症や重症化のモニタリングに用いることは難しいです。本研究では、実際の熱中症患者が発生しうる暑熱環境下において、運動時のバイタルサインと深部体温の関係について明らかにすることを目的とします。

[対象・研究方法] 兵庫県警察の訓練参加者(教員を含む)を対象として、2023年8月7日～10日、2024年2月8日～9日、6月10日、8月8日、2025年8月7～8日に兵庫県芦屋市の警察学校で行われた暑熱環境下での訓練中に、安全配慮措置としての業務目的で血圧、体温(腋窩温)、脈拍、SpO₂、深部体温(前額温)、発汗量等(2025年のみ)を測定したデータを用いて、各バイタルサインと深部体温の関係を調査します。

[研究機関名] 帝京大学スポーツ医科学センター

[個人情報の取り扱い] 帝京大学としての保管規定で、研究終了後10年間の講座での保管を行います。

問い合わせ先

連絡方法:電話

連絡者:スポーツ医科学センター 客員准教授 神田潤

連絡先:042-690-5511